

が視察においでになって、しかも最近では大学や研究機関などが長逗留をしてレインボープランを学び、地域を学びということ、体験型のこれは事業を展開しております。かなりの経済効果も生んでいると思います。宿泊も含めて、飲食、あるいはタクシーの利用とか、そういうことも考えますと、まなび館、あるいはその周辺の環境もそういった体験型の学習を提供するというをしていけばいいなというふうに思っておりますが、観光振興課長にはその辺の考え方についてお聞かせいただきたいと思ひますし、これから観光交流センター建設がなされた後には、そこで長井ダムのインフォメーション、あるいは野川まなび館のインフォメーションもされるはずでありますので、ぜひその中にも体験学習等々の案内も入れていただきたいと思ひますし、そして、そうすれば、収益、営業目的であるとか、そういったことは言われずに、学習への対価としてまなび館のほうにお支払いする。あるいは資料代とか、視察研修ということでの対価でありますと、お支払いすることありますと、多分国交省が心配、懸念されている営業目的には当たらないのではないかというふうにも思ひますので、野川まなび館を一つの観光の拠点とする考え方のもとには、そうした周辺の環境をいかに売っていくかということにもこれはかかわってくると思ひますので、ぜひ観光振興課長からその辺のアイデアも含めて、考え方もお聞かせ願えればと思ひます。よろしくお願ひします。

○大道寺 信委員長 鈴木広弥観光振興課長。

○鈴木広弥観光振興課長 最上川リバーツーリズムネットワークさんによる環境体験学習、大変立派なやつだと思ひます。観光のサイドとしても重視していかなきゃいけないというふう感じております。

ただ、ちょっと思うのは、NPOさんでやっていらっしゃる場合は、どうしても収益という

よりも、何か自主的な環境の学習、教育ということですね。そちらのほうを重視しなきゃいけないというのが出てくるかと思ひます。そういう意味で、ちょっと観光とはちょっと違うのかなという感じもしますけれども、ただ、観光というのは広い意味で捉える必要もあるかなと思ひております。

おっしゃるように、レインボープランの視察でいらっしゃる方、今回の環境学習でいらっしゃる方、長井市内でおいしいものを食べたり、あるいは旅館に泊まっていたり、買い物していただいたりするわけでございますが、そういう意味で言えば一般の観光客と同じように経済効果をもたらすわけでございますので、そういった方々向けに一緒になって観光のほうもやっっていかなきゃいけないかなと思ひております。

具体的に現在やっていることとしましては…

○大道寺 信委員長 簡潔に答弁お願ひします。

○鈴木広弥観光振興課長 ネットワークのほうを結んでいきたいなと思ひてお願ひして、4月から立ち上げた観光ポータルサイトで最上川リバーツーリズムネットワークさんでも簡単に観光ポータルサイトのほうに情報提供できるようにというふうなことで、インターネット関連で手を結んでこれから具体的にやっていきたいと考えております。以上です。

○大道寺 信委員長 3番、江口忠博委員。

○3番 江口忠博委員 ありがとうございます。質問を終わります。

今泉春江委員の総括質疑

○大道寺 信委員長 次に、順位2番、議席番号4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 日本共産党の今泉春江でございます。通告しています大きい2点について質問いたします。

まず、1点目です。私は、6月議会での一般質問で、白つつじの雪焼けの原因と対策についてお伺いしました。つつじの雪焼けは、3年続きの大雪や低温の影響が原因で、対策としては、雪囲いや除雪などで対応していくとのことのお話でした。また、そのときにつつじの木が切られていることがわかり、大変驚き、どうしたのかとお尋ねいたしましたが、それは病気のために切り、その後植えかえや根の保全をし管理をしていくとの報告を受けました。

そのことを受け、このたび白つつじの雪焼け防止対策として、合計516万1,000円の予算が出されました。大変大きな金額ですが、早速対策を講じられ、大変よかったですと思います。

そこでまず、お伺いします。本年も猛暑でしたが、その後は一変して長雨、さらに7月の豪雨など、大変な気象条件の夏でしたが、この影響などで、切ったつつじなども含め、つつじの現在の状態はいかがですか。お聞きします。

○大道寺 信委員長 どなたですか。

○4番 今泉春江委員 市長。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。今泉委員からもいろいろご提言をいただきましたが、現在の状況でございますけれども、ことしは、おっしゃるような大変な天候でございました。大雨だったり、その前は空梅雨、あと猛暑ということでございますが、おかげさまでつつじのほうは、春先の雪焼けの状況から回復いたしまして、枯れることなくいっぱい葉を出しております、葉の緑も濃く、枝ぶりもよいという状況でございます。大変、現在のところ生育状況は良好というふうに思われます。以上です。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 大変状態はよいという報

告を受けて、大変安心しております。私も時々つつじ公園に行って、つつじの木の状況などを拝見させていただいていますが、大変緑が生い茂って、大変すてきな状態になっております。常に樹木の状態を把握することがやはり大切かと思えます。しっかりと管理をお願いしたいと思えます。

その次に、今回総額516万1,000円の予算を見ますと、雪に潰されにくい形状にする枝の剪定作業370万1,000円、雪囲い資材の46万5,000円などは、今回だけでいいのかと。資材などは当分はもつかと思えます。ほかは、雪囲い業務手数料や支障樹木の枝整理、除雪費などですので、毎年の必要経費と思えます。毎年この予算はつけていただけますでしょうか。お伺いします。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 予算を評価いただきまして、ありがとうございます。今まではやはり財政的なこともございまして、十分資材等にも、あるいは維持管理にお金をかけることができませんでした。特に大きい、七兵衛つつじとか、そういった大きい枝ぶりのものについては雪囲いをしておったんですが、小さいものについてはなかなか資材等でお金を出すことができなくて、今までできなかったと思っています。したがって、来年以降はそういった資材部分のお金がまず、従来、今回の補正みたいにはかからないということが1点と、あと、やはりこれから冬の前に相当剪定をして枝ぶりを軽くしないと、雪の被害を受けますので、今まではボランティアでそういった協会の造園関係の皆様ボランティアでしていただいていたんですが、それも毎年ということでもございせんでしたので、やはり剪定などで非常にお金がかかるんだというふうに思っております。

ただ、今回は今までそういった剪定を十分できなかったりしておりますので、ことしきちつとやると、来年度以降は大分楽になるんじゃない

いかなと、そのように思っているところがございます。

白つつじ公園は長井市を代表する公園でございますので、また多くの先人の皆様の努力によってしっかりと守られた公園でございますので、今後とも努力しなきゃいけないというふうに思っているところがございます。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 ぜひそのように対策をしていただきたいと思います。

次に、除雪ということでお伺いします。

神社の西側なんですけども、道路に面した図書館の駐車場があります。もちろん図書館に来る方や、夜などはあいていますので近所の方なども車をとめています。ところが、冬分はそこを毎朝除雪車で雪を片づけるのですが、道路は消雪なので、その雪は公園のほうにつけるような形で除雪します。近所の方の話では、去年は豪雪だったせいもあり、多くの雪がつつじのほうに押されていた、あれではつつじが大変、毎日見ているからわかると話されていました。春になってもなかなか消えない雪で、今回の雪焼けの原因も影響しているのではないかと心配いたしました。あそこは狭いところで除雪車も大変でしょうが、除雪方法も検討いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

商工、観光、担当課長でも結構です。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 除雪の仕方については、建設課のほうで、どういった業者さんと打ち合わせをしているかですが、具体的には観光振興課と建設課と打ち合わせをしながら、業者さんのほうにつつじに影響がないような除雪方法をとらなきゃいけないというふうに思っております。

ちょっとこの除雪については、建設課長のほうに答弁いたさせたいと思います。

○大道寺 信委員長 宇津木正紀建設課長。

○宇津木正紀建設課長 今泉委員おっしゃって

る除雪ですが、そこは市道の除雪のエリア、区間ではなくて、あそこも消雪になっています。図書館の駐車のために、図書館で小型の除雪機で図書館の職員が除雪しております、投げる方向が問題かなというふうに思っております。社務所の先が観光振興課の担当ということで、図書館の部分が教育委員会の管理している区間ということでちょっと分かれていますので、こちらの、建設課直接ではないんですが、その雪のあけ方については、やはり教育委員会と社務所のほうの駐車エリアを管理している観光振興課との話し合いが必要なのかなというふうに思っております。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 消雪、道路は消雪で、その道路の脇にある駐車場のことを申し上げていますが、そこは図書館の、指定管理になっている図書館のほうで除雪するというのでしょうか。ちょっと確認させてください。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 この件につきましては、建設課と教育委員会、そして観光振興課、それぞれ関連がございますので、担当の課長、あるいは教育長のほうから答弁していただくようにしたいと思います。

○大道寺 信委員長 どなたですか。

宇津木正紀建設課長。

○宇津木正紀建設課長 ただいま今泉委員のご質問にある、図書館近くのエリアですね。社務所から図書館入り口まで、社務所の北端から図書館の入り口までは教育委員会のほうで管理していただいている駐車帯というふうになっております。

○大道寺 信委員長 場所違うんじゃないですか、今泉春江委員。もう一度質問をお願いします。

○4番 今泉春江委員 確かに、図書館へ入る社務所の前の道路もあります。そうでなくて、私が申し上げているのは、今回雪焼けなどがあり

ました木が切ってありましたよね。あの道路に面した、消雪道路に、片田の、神明町ですか、道路に面している駐車場ですね。図書館駐車場という看板が立っています。

ただ、申し上げたいのは、その雪、除雪の仕方です。今回の雪焼けも一つ大きな原因だったのかなと心配したものですから、質問申し上げたところです。その道路に面した駐車場です。長く、細長く、ありますよね。

○**大道寺 信委員長** 今の質問の続きがありますから、宇津木正紀建設課長、今の場所的にはわかりますね。

○**宇津木正紀建設課長** 場所については、市道東裏線って、つつじ公園の西側を走っている市道ですが、その市道と、あとガードレールありますが、その間の駐車帯で、現在、図書館駐車場という看板はなくなっていますが、そこは教育委員会のほうで管理いただいているエリアの駐車場というふうになっております。

○**大道寺 信委員長** 4番、今泉春江委員。

○**4番 今泉春江委員** いろんところで管理なさっているわけなんですけども、ただ、今回申し上げたいのは、その駐車場の除雪が、雪が、みんな公園のほうに押っつけるといふか、片づけるものですから、ことしのような豪雪のときはやはり相当な雪が、あそこは広場なんてないものですから、ずっと除雪されます。ですから、その除雪した雪が今回の雪焼けにも大きく、降った雪以上に影響したのではないかなと心配いたして、ちょっとことしは除雪の方法を検討していただきたいなと思ひまして、質問いたしました。

○**大道寺 信委員長** 再度、内谷重治市長、答弁をお願いします。

○**内谷重治市長** この件につきましては、管理しているところが文化生涯学習課ということでございますので、文化生涯学習課長から答弁させていただきます。

○**大道寺 信委員長** 齋藤理喜夫文化生涯学習課長。

○**齋藤理喜夫文化生涯学習課長** お答えいたします。今泉委員ご指摘の部分につきましては、私どもの図書館のほうで管理をさせていただきます。ただ、その排雪の部分がつつじのほうに影響を与えているかどうか、どの程度影響を与えているかどうかにつきましては定かでない状況がございます。

先日、図書館の指定管理者の方とその部分についてお話し合いをさせていただいて、市の除雪車等々を活用するような形もできないかというふうなお話を受けたところでありまして、必ずしも十分な形でできるかどうかはわかりませんが、指定管理者、それから建設課のほうと相談をさせていただきながら、少しでも改善できるような方向で進めていきたいというふうに思います。

○**大道寺 信委員長** ここで昼食のため暫時休憩いたします。再開は午後1時といたします。

午後 0時00分 休憩

午後 1時00分 再開

○**大道寺 信委員長** 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

それでは、今泉春江委員の質疑を続行いたします。

4番、今泉春江委員。

○**4番 今泉春江委員** 午前中の質問でしたけども、ぜひ除雪なども考慮していただき、つつじに影響のないようにしていただきたいと思ひます。

私は、樹木医の指導はもちろん、長井に樹石会の方々のようなプロの方もおり、市民の方々の英知を集め、つつじの花の保全管理、公園の

維持管理をされ、このたびのこの予算が効果的に運用されることを強く要望いたします。そして、来年はすばらしい花になるよう願っております。

3番目の質問です。私は、福島県の会津から長井に参りまして35年にもなりますが、白つつじ公園について何となく聞いてはおりましたが、今回改めて白つつじ公園の歴史を勉強いたしました。皆様は既にご存じでしょうが、竹田市太郎さんの「長井の歴史物語」を見ますと、花作りの鈴木七兵衛さんは室町時代の初めに相当の大百姓になっていたということです。七兵衛さんは、天明3年、1783年の飢饉で、貧しい農民が飢えに苦しんでいるのを気の毒に思い、窮民救済のため、屋敷に築山をつくり、琉球つつじを植える事業を始めました。その事業に応募した者には作業代金として米を支払ったといいますが、彼は「人に誰で物を恵むと惰眠をつくる」、働いてその結果、当然の報酬を受け取るのであれば恥ずかしくなくとも参加できるという考えを持ち、作業代金として金品を支給することは、与えたほうももらうほうも自尊心を傷つけないとの考え方でありました。こうして白つつじの咲く「七兵衛坪」ができました。

また、明治29年の小出区議員の指導者だった横山孫助さんは、皇大神社と備え倉一帯の草原と水田を公園にし、町民の憩いの場にしたいと願い、池を掘り、赤松を植えて松ヶ池公園と任命し、鈴木七兵衛さんをはじめ小出区有志からの寄附で白つつじを植えました。明治41年から43年にかけて公園の拡張を行ったとき、横山孫助さんと梅津源吉さんが「小出地区発展のため気品のある白つつじを譲っていただきたい」と、非常な熱意で鈴木七兵衛さんの樹齢500年と言われる白つつじの老木を全部譲渡してくれるよう誠意を持って説得しました。初めは先祖伝来の古木を全部提供するにはちゅうちょもありましたが、七兵衛さんの小出地区の発展のためな

らと公益優先の決断で現在の白つつじ公園が成立したとありました。改めて、この白つつじ公園、七兵衛つつじがいかにか貴重なものを、そして鈴木七兵衛さんの人間像や市民のために公園の造園に力を注いだ横山孫助さん、小出地区の町民の思いなどを知ることができました。気品の高い美しさがある白つつじは見事で、市民の宝です。市民みんなで大切に守っていかなくてはなりません。

そこで、教育長にお聞きします。白つつじ公園やあやめ公園、また黒獅子の由来などの長井の伝統文化に関する教育はとても大事であると思いますが、学校教育の中でどのようになさっておりますか、お聞かせください。

○大道寺 信委員長 加藤芳秀教育長。

○加藤芳秀教育長 お答えいたします。

長井の文化についての学習は、本当に大事な生きた教材でもございますし、大切にしなければならぬというふうに考えております。それらについては、小中学校のさまざまな機会を捉えてなされております。小学校では、1・2年生の生活科、それから3年生の社会科で郷土の歴史とか文化に触れる学習が行われておりますし、小中学校を通して行われている、これは小学校3年生以上、それから中学校においては、総合的な学習の時間ということで行われております。特に体験を交えた詳しい学習については、総合的な学習の時間の中で行われているというふうに認識しております。

社会科の学習では、小学校3・4年生で使用する社会科の副読本「わたしたちのふるさと」という、このようなものでございますが、これを使用しております。長井市の歴史、文化などに関する記述や写真などがたくさん掲載されておりまして、社会科の学習の副読本として市内の小学校で活用されております。その中には、總宮神社でありますとか久保桜、長者屋敷遺跡、小桜館、黒獅子、それから獅子踊り、念仏踊り

などの掲載がございます。

長井市の様子という単元がございます、その中では、すてきな場所、あるいは長井市の楽しい場所の例として、つつじ公園が取り上げられております。その教材を活用して長井市の様子について調べる学習を通して、子供たちは理解を深めております。もちろん、つつじ公園の由来等を調べ学習を通して調べたり、あるいはあやめ公園の歴史、それから実際に出向いての学習などをしております。

さらに総合的な学習の時間の中では、それらを体験を通して学ぶということが重視されておまして、先日、長井小学校の4年生が山新に載っておりましたけども、あやめ公園で清掃ボランティアなどをしておりましたけども、あれについては総合学習のテーマであります未来に残したい長井の宝物という、それを伝えようという、そういうテーマで3・4年、5・6年を見通した学習計画が立ててありまして、その中であやめ公園について地域の人にお聞きしたり、つつじ公園についてお聞きしたりという、そういう宝探しというんですかね、宝物を、長井のよさをお聞きして、じゃあできることをやってみようということであんな活動に結びついたというように伺っております。

そのような形で、議員ご指摘の長井の文化につきましても、長井の心を育むためにも大変大事な学習だというふうに考えておまして、これからも大事に扱ってまいりたいと、そのように考えております。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 大切なことですので、ぜひ引き続きよろしくお願いたします。

それでは、大きな2点目に参ります。

私は一般質問で、かわと道の駅について、基本的な問題点についてただしましたが、今回は地区長などからの議会に対する要望書と設置場所、一般質問に対する市長の答弁漏れの3点に

絞って質問します。

今議会にかわと道の駅についての調査設計料などの予算が計上されています。6度目の提案となりました。6月議会には提案はなく、3月議会から9月議会までの間にどのような検討をなさったか、さらに、これに反対する議会や市民の方々の意見はどのように受けとめて検討なさったのか全然見えてきていません。

そこでお聞きします。このたび幾つかの地区から市議会議長宛てに要望書が届いています。それを見ますと、各地区とも地区の道路の消雪などの要望をぜひ実現していただきたい、そのためにかわと道の駅の事業を推進してくださいといった内容のものです。なぜ地域の要望とかわと道の駅を絡めるのか、納得いきません。

このことについて、市長の見解をお聞きします。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 要望書いただいた内容を見ますと、まず最初に9月2日に幸町から提出いただいたのを皮切りに、9月13日までの間に成田地区、これは成田自治会長、中央、南東、新町の地区長連名でございます。それから中央地区長会から、それと長井駅前通りまちづくり協議会、本町中央まちづくり協議会の5団体から提出いただいております。

やはり昨年の秋からこの春までにかけて、約40カ所で地区の座談会を意見交換会という形でさせていただきました。それ以外にもいろいろな団体のほうに出向きまして、あるいは招かれまして、これからの長井市のまちづくりについて、行政運営について、同時に都市再生整備事業と中心市街地活性化事業ということでいろいろなお話をしてきたところでございます。

今泉委員からは、生活環境整備が主な要望じゃないかというふうにおっしゃっておりますが、確かに幸町、あるいは成田のほうからはそういった内容でございました。あと、中央地区長会のほうは、今泉委員も中央地区でいらっしやい

ますので地区長の皆さんとお話しする機会が多いかと思いますが、中央地区長会のほうは全会一致でこれを出していただいたそうです。中央地区長会のほうは3点ほど要望事項を上げていらっしゃると思います。それは、車の玄関口であるかわと道の駅の早期実現、やはりこれは中心市街地の活性化も含めて、地域の活性化に必要なというような内容でございます。2点目が生活に密着した安全な道路の整備ということで、これは消雪道路も含めて、私が市長に就任してからもずっといろんな座談会を開いていただいた中で要望がございました。それらについて、私はいろんな補助事業を絡めてしないとできないということをずっとお話ししておりましたので、したがって、地区の方も市民の皆様も、このかわと道の駅と生活環境整備、そういったものはパッケージ事業であるということをご理解いただいたものというふうに思っています。あと3点目が安全・安心を支える、例えば河川の改修等々をしっかりやってほしいという内容でございました。

それから、ちょっと違うのは駅前通りのまちづくり協議会、それから本町中央まちづくり協議会のほうからのご要望です。これは、それぞれ立場は若干違いますが、街路事業を採択していただいて中心市街地の活性化を図ろうと、まずは商業の再生という視点から商業機能を高めていくと。しかし、これだけでは中心市街地を活性化できないので、あわせて生活環境整備もそうですが、地域の活性化のための事業をぜひ行ってほしいということで、都市再生整備事業を進捗してほしいということでもございました。

それから、最後に今泉委員から、生活環境整備をしたいんじゃないかと、地元の望んでるのはそれじゃないかと。それは地区によって違うと思いますし、団体によって考え方も違うと思います。ただ、以前から申し上げてますように、通常消雪道路とか、あるいは道路改良、河川改

修というのは、一般の社会資本整備総合交付金事業、これは県が取りまとめている中身でありますので、我々市町村の中身を要望を県全体で取りまとめて、国に対して予算を要求する。しかしそれが、道路改良系については、ここ二、三年は3割前後ぐらいしか予算がつかないという状況でございますので、今回の事業はパッケージ事業としてセットで、しかも都市計画区域内で行えるということでもありますので、都市計画区域内ではこういったことで生活環境整備を行いたいということは前々から言っておりますので、ですから、都市再生整備事業を推進しないと生活環境整備も一緒にできないんだということをご理解いただいた上での要望書だというふうに思っております。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 しかし、なぜ今このような要望書が9月議会を前にして次々と届くのか。そして今、地区からのさまざまな要望はもちろんあっていいと思います。住民の要望は大切です。議会としても検討していく必要がありますが、しかし、このたびは都市再生整備事業を進めてくださいという要望があるわけですね。一予算に対して要望書が次々と出されてくるということは、かつてないことではないでしょうか。中央地区長会からは、市長も今おっしゃいましたけども、全員の総意だと議長から私たちに説明を受けました。しかし、地区長の中には、そう言われると困ると話されている方もおりました。なぜか非常に理解に苦しみます。こういうことはどう思われるでしょうか、ちょっとお聞きします。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 市議会の議長と副議長も一緒に聞いていらっしゃるかどうかわかりませんが、私のところに中央地区長会のほうでお見えになったときは会長のほうから全会一致ですということでしたので、申し上げただけでございます。

それから、今泉委員もご存じのとおり、この間の一般質問でもありましたように、6回目なんていうのは異例中の異例で、恐らくないと思います、ほかのところでは。ですから、それだけ市民の関心も非常に高いと。

こんな言い方はちょっと失礼かもしれませんが、先週、東町の敬老会に私、招かれまして行ってまいりました。そうしましたら、私から頼んではないんですが、東町の地区長さんが敬老者の皆さんに、実はこうこうこういうことでということで新聞記事をつけておられました。私からそういったことは頼んでおりません。ですから、今回もいろんな地区から、あるいはいろんな団体から要望は前々からいただいているということで、実はこの間、ことしの1月とか3月とかあたりは要望書を出したいというようなことはたくさんございましたが、私のほうからやめてほしいと、そういうふうに申し上げておりました。ですから、今回も実はいろんな団体から、こういった地区ではない団体から何団体からもございましたけれども、私のほうからは、今回は向こうから何にもないものですから断りもしておりませんが、実は以前に、1月とか3月に出すんだったらぜひ出したいと、特に農業団体関係のほうからはいただいておりますが、それは私は以前はお断りしてました。今回は断ってないという状況ですし、あと、新聞等々でも紹介されましたが、いよいよこれで最後だと。多分この事業がこれから先、進めることができるのか、あるいはここで断念せざるを得ないのかというのが多分9月議会あたりが最終的な判断だろうということを申し上げておりますので、地区のほうからはそういったことで要望があったんだというふうに思ってます。以上です。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 当然、要望というのは地区からの自主的な要望ということなんですけども、私が申し上げたいのは、その要望と都市再

生整備事業、かわと道の駅を推進してくださいということを全て皆さんお願いしております。どうして同じような要望書が届くのかということに、非常に疑問を感じてるところです。例えば今回の19億1,000万円という予算がありますけども、その中で例えば国の金が4割だと、補助金が4割と説明があります。ですから、市の持ち出し分は6割とすれば、11億円の市の負担があるわけですね。都市再生整備事業がパッケージ事業だと何回もご説明いただきました。ですけれども、パッケージ事業だから基幹事業を認めてもらわなければこれもできないんだということ、何回もこれも説明をいただいております。しかし、11億円の市の負担を思えば、何もパッケージ事業でしなくても、確かに市が100%だとしても、市民の強い要望であれば、11億円を負担する思いをすれば十分それでも事業は可能ではないかなと考えますけども、どうも私は納得いきません。

一応このことはこれで、次予定してますので、次のことに移ります。

次に、かわと道の駅の開設場所について伺います。

それはもとマーク跡地、示されている場所です。よろしいですね。市長、どうですか。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 そのとおりです、何度も申し上げます。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 そこでお聞きします。過日、長井小学校関係やめぐみ幼稚園関係者、文教体育施設検討委員会、教育委員長などの方々を対象に、意見交換会が行われました。幼稚園関係者は、教育の現場、人をつくる場、そして子供の命を預かる安全・安心が大切、子供たちのことを考えてほしい。小学校関係者からは、早いうちに話し合いをすべきだったのでは、子供たちに悪い影響がなければいいと思う。また、

市長は交差点があるから道の駅に適していると言いますが、しかし、長小のほうに車が来る、学校のそばに道の駅があるのはどうかなど、そこでは多くの方々が児童・生徒の安全が心配との意見を言っておりました。私も、一番の問題は子供たちの安全です。

先ほどまち・住まい整備課長からは、反対という意見はなかったという答弁がありました。反対とは皆さん言ってません。賛成とも言ってません。ですが、言ってないから反対という意見がなかったというのは、おかしいんじゃないでしょうか。皆さん、安全を危惧してるわけですから、その点は子供たちの安全というところで、そこはどう解決いたしますでしょうか。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 今泉委員おっしゃるように、賛成も反対も、いらした方の大部分はおっしゃっていませんでした。しかし、今泉委員が今おっしゃったように、つくることについて否定はしないけれども、つくるのだったらきちっと安全性を確保してほしいということでありました。

あとと思うに、心配されてるのはめぐみ幼稚園の父母の会の皆様が特に交通安全対策をしっかりしてほしいというようなご要望でしたけれども、一方で、めぐみ幼稚園の理事長さん、あるいは長井小学校の校長先生からは、やはり子供たちが長井を誇りに思えるような、そういった施設をつくるんだったらしっかりつくってほしいと。あと小学校のほうからも、最上川の舟運の歴史がわかるような、子供たちにも見せられるような、そういったものの工夫が欲しいということでした。したがって、これから測量して、その後、基本計画、基本設計ですから、その設計の段階で交通の安全性の確保はできると思います。しかし、そばにそういった施設があることは、これは避けられないわけでありました。こうもおっしゃってましたよね、その建てた後、何か問題あったときにきちんと

園側、あるいは小学校側の意見を取り入れて改善してくれる。騒音とか交通については園側も逆に騒音を与えることもあるんだと、住民からはそういう苦情が非常に多いですということがありましたので、そういった意味では反対でも賛成でもないんですが、つくる以上はきちっと計画的に、なおかつそれぞれのめぐみ幼稚園、長井小学校の立場を踏まえていろいろな対策を練ってほしいということだというふうに私は理解しておりますので、これからだというふうに考えております。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 今、市長のおっしゃるように、めぐみ幼稚園でもしも道の駅ができ上がったときに問題が起きたら、その後の対応をちゃんとしてほしいと、それが問題であると言っておりました。やはりでき上がってから、ちょっとまずいんじゃないかということで次々とそういうものが出てくるということは非常に心配でございます。やはりそういう心配というものを解決して、そして進めるというか、問題解決をどうするのかというのが今一番の課題ではないかと思えます。

そして、車のことですが、あそこの国道が1日1万8,000台と調査されてます。確かに交通量はあります。旧勤労センターの会議など、交差点ですとつながった車で、マークの脇の道路からは出られないときが時々あります。でも、今でもこのような車の渋滞があるわけですので、やはり道の駅ができるとなるとさらに交通量がふえるのではないかと心配いたします。もちろん交通量があるということが道の駅の条件でありますけども、この場所に設定するというのは警察の許可は得られているのでしょうか、お聞きします。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 現時点で警察の許可ということにはならないと思えます。まだ計画をつくりた

い、測量したい、基本設計をしたいということの予算でありますので、それがもう既に1年半たってるわけですから、さすがに関係者の皆様には非常に迷惑かけてます。先ほどもっと早く説明会をすべきだと。私、この間、冒頭おわびしました。そのとき申し上げたのは、当事者みたいになるのが申しわけないと。結局めぐみ幼稚園が大変だと、あるいは学校側は大変だということで議会の中で賛成、反対ということになると、やはり何度も何度も、例えばめぐみ幼稚園の理事長は、いろんなところでいろんな話をされると、もううんざりだと。聞いてましたよね。ですから警察については、これは例えば計画を立てて、その後にはどういう対策をしたらいいかと、承認をいただいたときに一応相談はこれからでありまして、ただ、通常の場合と違って十字路の関連したところありますので、私は警察が反対ということはないし、許可ということでもないと思います。ですから、その辺はちょっと私と感覚が違うと思いますが、これから、何しろまだ基本計画とか交通安全対策が具体的に示せないわけですよ、予算を認めていただかないと。ですから、そういう架空の話じゃなくて、しっかりとまずどうすべきかということだと思いますので、警察のほうはそれからだというふうに思っております。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 ちょっとあれで、余談になりますけど、つつじ公園のすき家の前の入り口を前に私もちょうと質問したことありましたけども、あれは道路をつくって、あそこからの進入という、つつじ公園の土手を削ってつくったわけですけども、警察の許可が信号機も近いしおらなかったというようなお話をお聞きしたんですけど、後で市長は、いや、最初からあそこは警察ではだめだと言ってたというようなことを何か説明受けましたけども、やはりあの入り口も何のためにあそこをつくったのか、何の

目的でつくったのか、後で警察の許可をとろうとしたらだめだったと。せっかくのつつじや桜が何本かありましたので、いやもったいないことしたなど。人もあそこからは出入りしないような、めったに見ることがありません。ですから、そういうようなことに後でならなければいいなと思ってお伺いしたところでした。

なお、交通の渋滞ということで大変心配するところです。今までの説明ですと、日産のところの交差点からではなく、手前の道からの入り口というか、そういうことも出入り口を考えておられるようですが、土手の道はどうなさるのでしょうか。現在、めぐみ幼稚園の前ですね、それと旧勤労センターの「ふらり」の前は駐車場として使っております。車がとまっております。そうすると、今あそこの土手の道路を通ろうとすると、交差する車は非常に大変です。車のすれ違いが大変狭い道なわけです。このような問題は、もしも土手のほうを使うとすればどうなさるおつもりでしょうか、お聞きします。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 ただいまの件についてはまだこれからでございますが、まち・住まい整備課長のほうから答弁いただきますが、その前に、すき家の向かい側のつつじ公園のところについてはそういう経過がございましたけども、それをわかった上であそこが例えば人、出入りできるようにということでしたわけでありまして、最初からあそこを車の進入路にするということは考えておりません。最初はしたかったんですが、これは無理だということがわかったんですけれども、それでもやはりあそこの中でやった催事とか全く見えませんので、あと、出入りするときに文化会館側までずっと歩かなきゃいけないという声が非常にありましたので、そこを行走できるようにしたわけでありまして、そこは今泉委員がおっしゃっていることはちょっと違うと思います。最初はそうだったんですが、結

果的にそれはわかりながらやってるということ
であります。

また、これから答弁させますまち・住まい整備
課長のほうからもあると思いますが、そのの
ところも含めて、どういうふうにしたら園のほ
うで安全を保てるのか、あとは旧マークのとこ
ろからシルバー人材センターのところまで入
る市道などもつけかえしなきゃいけないというふ
うに思っています。長井小学校の学童クラブの児
童を12名、めぐみ幼稚園で受け入れてるとい
うことのでございましたので、それらについても対
応を考えなきゃいけませんので、まだ具体的に
どうしたらいいかということは今の段階では何
とも言えませんが、なお浅野課長から答弁いた
させます。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備
課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 お答え申し上
げます。

昨年にお配りしました観光交流拠点施設基本
計画の中の範囲内で、今、構想として考えてお
りますのは、左折の場合は287号線から直接道
の駅に入ることは可能でございます。右折車に
ついては、信号のある日産の前の交差点から右
折しまして、堤防の前の道路、神明野川線です
が、その手前から左側に入って道の駅に入るよ
うな構想を立てています。ですから、堤防の下
の道路、神明野川線から入るのではなくて、あ
くまでもその手前から入ると。今考えてる建物
の背面が堤防の下の道路になりますから、極力
堤防の下からは車が入りできないような構
造にしたいというふうに考えております。以上
です。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 この間の説明会でも、極
力土手のほうには車が進入しないようにしたい
というようなお話がありました。今、課長から
もそのようなお話がありましたけれども、めぐ

み幼稚園に行く方や、さらに旧勤労センター
「ふらり」へ行く方は、やはり道の駅ができま
すと堤防を通らないと行けないわけですよね。
今までは市道というか、シルバー人材センター
の前を通過して勤労センターのほうへ、あそこ真
ん中を左折しましてバイパスから入りますと行
くんですけども、それとか、旧勤労センターの
前の駐車場にとめる場合は土手へ出て旧勤労セ
ンターの前の駐車場にとめたり。だから、今ま
でどおり土手の道というのは使用するのではな
いかなと、さらに使用量というか、車の往来は
ふえるんじゃないかなと思っておりますけども、
今のままの道で安全も確保できるのかなと大変
心配します。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備
課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 お答え申し上
げます。

先ほどちょっと説明不足なところがございま
したが、神明野川線もこのたびの都市再生整備
事業で道路改良の予定としておりますので、今、
1車線しかございませんので、すれ違いできな
いところもあると思います。ですから、今の構
造でなくて、2車線確保できるような道路にし
たいというのが1点でございますので、今まで
堤防の下で危険なというか、一方がとまって待
避できるような構造でなくて、両側通行可能な
拡幅にしたいと思います。

あと、かわと道の駅と幼稚園の間には道路を
設けたいと思います。幼稚園側では前々から、
今の段階でも堤防の下の道路を飛ばす車がある
ので大変危険だというような心配をされてお
ります。それを回避するために、中に入った道路
を幼稚園と道の駅の間に道路をつくることで、
そこで乗降できるような構造にしたいと思います。
さらに緑地なんかも設けて環境面にも配慮
していきたいというのが、今の構想の段階では
考えております。以上です。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 いろいろな解決策をお聞きしましたが、しかし、何か次々と心配する問題が出てきております。やはりさまざまな問題の解決をどうするのか、それがクリアされてから道の駅というものを考えるべきではないかと思えます。

時間もないので、最後の質問に移ります。一般質問で時間もなく、答弁がなかった件について再度伺います。

昨年度の12月議会で、かわと道の駅について市長は、僅差ではなく多数の賛成で進めるとの答弁をしましたが、今もその立場に変わりはありませんか、お答えください。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 できれば全会一致でいただきたいということで努力をしてきたところです。結果はどうかわかりませんが、そういう努力をしてきたということでございますので、考え方は、これは希望ですけれども、同じであります。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 希望ということでしたけれども、市長がおっしゃったのは努力をしたがだめではなくて、その努力をすべきだったのではないのでしょうか。やはり大勢の議員の賛成がなければ、私はこの事業は進めていくのは大変というか、困難だと思います。

かわと道の駅は、長井市にとっては大事業です。慎重を期すべきだと私は思います。その点からも、前の市長答弁のように、多数の議員賛成がなければこの計画は撤回すべきだと思います。以上申し上げ、質問を終わります。

蒲生光男委員の総括質疑

○大道寺 信委員長 次に、順位3番、議席番号9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 3年ぶりぐらいの総括質疑になるものですから、3日ほど前から緊張して、夜もろくろく眠れませんでしたけれども、ひとつお手やわらかにお願いをしたいと思えます。

私の質問項目は3点でございますが、順次ご質問申し上げますので、ご回答を賜りますようお願いを申し上げます。

まず最初に、かわと道の駅の課題についてご質問申し上げます。

この件については、昨年の3月から修正案が提案されて可決されてきたといういきさつは皆さんも周知の事実でございますが、私はその賛否に加わることなく推移をずっと見守ってきた立場からしますと、以下、書いてありますようなことが大変疑問として残っているわけでございます。

まず、昨年の3月には全会一致で修正案可決されまして、要は都市再生整備事業の概要が不明のままでは賛否の可否の判断ができないという内容でしたよね。それから、6月では1,150万円だか840万円と315万円のいわゆる調査費が計上されましたが、当時の修正提案理由はまだ事業の概要がわからないというような触れ方でございましたけれども、実質的には、私は3月31日にかわと道の駅の概要版及び詳細版が出ていたことに原因があったと思っております。要はあれまでの細かい資料が提出される準備がしておかれながら、議会に対しては随分、資料をいただいたのが6月議会の直前だったと思っております。また、そういう資料がまとめられるということは、あえて調査費用等は要らないんじゃないかというのが6月議会としての修正の真意であったと思っております。

6月議会の修正案後に市長は再議を検討したいというようなことがあって、大分新聞紙上で